

鬼怒中だより 第5号

平成30年8月30日

発行者 校長 野宮 隆

～ 生徒信条： 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

【 猛暑の夏休み 】

今年は、7月21日から8月27日まで 38日間の夏休みでした。この38日間を生徒の皆さんはどのように過ごしたのでしょうか？夏休みに入る前の全校集会では、上杉鷹山の「為せばなる、為さねばならぬ何事、為さぬは人の為さぬなるなり」

の言葉を紹介し、この夏休みには自ら何か一つ心に決めたことを継続してやり遂げてくださいとお願ひしました。

皆さんは何を心に決め、何かをやり遂げることができたでしょうか。（開花した蓮の花）

そして実りの多い夏休みとなったでしょうか。皆さんの夏休み明けの成長を楽しみにしています。ところで、南校舎前のゴーヤのグリーンカーテンも、猛暑にも負けることなく元気に育ちました。气象台始まって以来の猛暑だったこの夏休みに、少しでも潤いをもたらしてくれたグリーンカーテンでしたが、暑さには勝てず、今年はもう枯れてしまいました。まだ来年の夏を楽しみにしてください。またグリーンカーテンの合間をぬって、蓮の花が見事に開花しました。また今度じっくりと観察してみてください。でも今年の夏は本当に異常な暑さでしたね。残暑も厳しそうなので皆さんも今後とも健康や体調に留意してください。

【 総体宇河地区大会 】

7月21日（土）から24日（火）まで、総体宇河地区大会が各会場で行われました。夏休み前の壮行会では、今大会が3年生にとって最後の大会なので、「122対0の青春」の話をして、悔いを残さないように全力で取り組み、多くの人に感動を与えようと話しました。各会場を応援で回りましたが、選手はもちろんのこと、応援者も一丸となって頑張っていました。鬼怒プライドを胸に、学校を代表している活躍する姿に大いに感動しました。



（ 部活動壮行会のようす ）



【 宇河地区中学校春季大会の結果 】・・・ 8競技で県大会出場

各部とも、持てる力をいかに発揮し、12競技中7競技（個人・団体）で県大会に出場するという素晴らしい成績を残しました。生徒の皆さんの頑張りを大変うれしく思います。ご苦労様でした。